

遮光と気化熱利用で花壇苗の高温を回避 (農林センター)

遮光により夏季高温期の花壇苗生産の安定化が図れます。また、露出した培地では、気化熱により培地温度が低下し苗の生育を促進できます。

遮光資材利用

遮光(遮光率45~70%)により、生育が促進され出荷率が高まる。長期間遮光すると開花が遅れる。

遮光率の違いが生育に及ぼす影響

品目	遮光率 (%)	鉢上げ時		出荷期	
		株径 (mm)	葉数 (枚)	出荷率 (%)	平均 開花日
ビオラ	25~30	15.5	3.3	91.7	11月9日
	45~50	14.5	3.7	83.3	11月7日
	65~70	17.2	3.2	83.3	11月4日
パンジー	25~30	12.5	1.8	50.0	11月24日
	45~50	18.2	2.5	91.7	11月26日
	65~70	21.3	2.7	83.3	11月26日

鉢上げ:ビオラ 9月15日、パンジー 9月20日

遮光期間:8月10日~9月28日まで

出荷率は、株径が10.5cm以上で開花した株の割合

遮光期間の違いによる出荷率、開花日

品目	遮光期間	出荷率	平均
		(%)	開花日
ビオラ	短期	83.3	11月8日
	長期	83.3	11月16日
パンジー	短期	66.7	11月26日
	長期	58.3	12月2日

ビオラ:ピピライトローズウィズブロッツ

パンジー:デルタプレミアム・イエローウィズブロッツ

短期:ハウスの最高気温35℃以下になる時期(9月下旬まで)

長期:ハウスの最高気温30℃以下になる時期(10月下旬まで)

* 遮光資材の遮光率45%

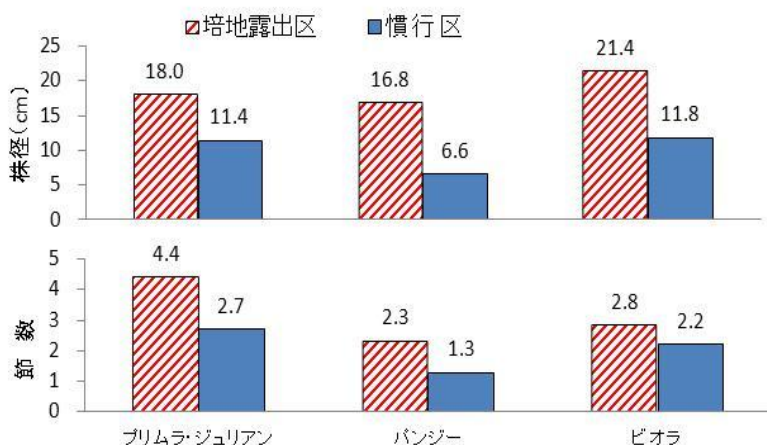
気化熱利用

露出した培地は、積極的なかん水による気化熱で温度が低下し、生育が促進する。



上:培地露出苗* 下:セルトレイ苗(慣行)

* 特殊な繊維で固めた培地を使用



※ 遮光条件下(遮光率45%)での栽培

- 遮光率45~70%の遮熱効果のある遮光資材が出荷率の向上・生育促進に有効
- 培地の露出による気化熱で培地温度は、最大4~5℃低下し生育が促進

- 遮光(45~70%)は、ハウス内最高気温を35℃以下になる時期までとすることで生育が促進し、開花遅延を防ぐことができます。
- 露出する培地の作成には加工費が必要であり、培地価格(406穴セルの場合 約1.1円/株)は高くなります。